

木造阿弥陀如来坐像 1 軀

木造阿弥陀如来坐像

もくぞうあみだによらいざぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔彫刻〕

所有者

宗教法人 天然寺(てんねんじ)

所在地

大阪市天王寺区城南寺町 4-5

紹介



木造阿弥陀如来坐像(天然寺)

大坂城の築城とともに営まれた浄土宗の寺町寺院に伝来する阿弥陀如来像。像高 46.2 センチメートルの来迎印(らいごういん)を結ぶ彫眼像(ちょうがんぞう)で、制作年代は平安時代末～鎌倉時代初期、12 世紀末にさかのぼると考えられる。市域に伝来する優れた中世の彫刻のひとつである。